

Rotary
Club of KOBE EAST



The Rotary club of Kobe East **BULLETIN**



神戸東ロータリークラブ会報

No.403 2025-2026 No.1

表紙絵：太原 震也元会員

**UNITE
FOR
GOOD**

会 長／鈴木 祐一 副会長／林 伯正 幹 事／古津 彰宏
広報委員長／岡本 浩司 副委員長／村井 通浩
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日



クラブ会長テーマ **RENAISSANCE Rotary club of Kobe East**
～笑顔で、親睦と連帯の実践による革新的進歩～





2025-26 年度 神戸東ロータリークラブ

第 72 代会長 鈴木 祐一
理事

2025 - 26 年度 神戸東 RC 会長行動指針

神戸東 RC は、私の会長年度で設立 72 年目を迎えます。

現在、世界中のロータリークラブ (RC) において、会員数の伸び悩みが顕著であり、特に先進国ではその傾向が顕在化しています。日本においても同様であり、私たちロータリアンは世界情勢の変化に対応し、変革を求められています。

第 2680 地区においては、1994 年のピーク時には 74 クラブ・4,246 名の会員規模を誇っていましたが、2024 年には 68 クラブ・2,458 名へと約 42% の減少が見られます。このような状況下においても、我々神戸東 RC は約 110 名の会員を擁し、活発な活動を続けています。特に 2680 地区内の各 RC から高い評価を感じています。

よく「神戸東 RC の伝統」というキーワードが登場します。この伝統とは何か、受け継いでいくべきものは何かを改めて考えてみてください。私の考える伝統は「親睦」と「革新性」の融合であり、具体的には、以下の活動が当クラブの DNA でもあり

原点であると考えます。。

- 多様な同好会、親睦会の開催
- 障がい者支援や青少年支援を中心とした地域社会への奉仕活動・VTT 活動
- クラブ管理業務及びイベントの質を維持しながら効率化をすすめ、経費の節約を図る。
- ロータリークラブの根幹である職業奉仕理念の探求と再認識

これらを踏まえ、私の会長年度のテーマを以下のように定めました。

RENAISSANCE Rotary club of Kobe East ～笑顔で、親睦と連帯の実践による革新的進歩～

これから始まる 2025 - 26 年度は、「チーム神戸東」の団結力を活かし、効率化委員会の活動、会員拡大、退会防止策の強化、他団体 (RC 含む) との連携・連帯など、単年度にとどまらない基本的かつ継続的な取り組みを目指します。神戸東 RC の伝統である「親睦」と「革新性」をさらに進化させ、未来への礎を築いてまいります。





副会長
理事 林 伯正
クラブ管理運営委員長

今年度、副会長を拝命いたしましたリンです。

入会 15 年目でウキウキ・ワクワクしております。

会長、幹事と共に一年間しっかり勤めさせていただきますので皆様何卒よろしくお願い申し上げます。

ただ、入会 15 年目にもかかわらずロータリーへの理解度は知識が乏しくお恥ずかしいのですが、これを機にしっかりと勉強していきたいと思っております。

ここで、1 年間の計画をお話しさせていただきます。

1 つ目は、会長主導のもと、立ち上げた効率化委員会です。

この委員会は文字通り、とにかく無駄を省くことを、主眼に置いた委員会となります。

具体的には、食事数のロスを無くすことです。

現在、ホテルへ食事数の発注は過去のデータ及び幹事の勘に頼るところが大きかったのですが、今年度は、山本裕計委員長が中心となり、事前に出席者の人数の把握をしようと考えており、例会出席アプリを作成いたしましたので、アプリへ出欠の登録のご協力をお願いしたいです。

あと、郵便物を廃止しネット配信にすることと、広報誌・ロースター発行回数の縮減等をし、経費削減も考えております。

2 つ目は、会員間の親睦を図ることです。

現在、当クラブは 100 名規模の巨大組織なので、どうしても世代間の壁がありグループが出来がちです。

では、その壁をどのようにして無くすのかを考えてみました。

1. 例会時の座席をくじ引きにする。
2. 各テーブルに会話を回す司会者を置く
3. ミニ親睦会の開催
 1. については、現在の委員会ごとに着席することが 9 月いっぱい終わるので、10 月から始めたいと考えております。
 2. については、私を含め、親睦・家族委員が中心となりますが、司会役が出来そうな会員様に

もお願いしていこうと思っておりますので、私からお声がけさせていただいた場合、是非ともふたつ返事で『OK』と返していただければ最高なので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

3. については、ベテラン会員、中堅会員、若手会員を交えて、ワンテーブル 10 人程で、ベテラン会員が人生の成功談・失敗談を話していただくことで、中堅会員・若手会員にとっては、貴重なアドバイスとなり、世代間の融和を図ることにもなると考えております。

3 つ目は、新入会員へのフォローです。

新入会員はほとんどの方が新しい環境の中で緊張の連続だと思います。

例会へ参加するのにも、期待より不安の方が勝っていると思われるので、先輩会員の皆様は、積極的にお声掛けをしていただき、新入会員が早くクラブに馴染めるように、していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

実際私自身も 15 年前に入会させていただいた際は、毎週火曜日が憂鬱でした。

例会時の席もどこに座れば良いのかが分からず、いつも心の中で『次の松花堂弁当を食べたら退会しよう』と幾度考えたことでしょう。

しかしそんな心境の中でも同世代の会員 F 氏のおかげで退会することなく踏みとどまりました。

また、入会時は 40 歳前半の方がいらっしゃらず、彼とは学年も 1 学年違うだけだったので、『おい、お前』と言い合えることができる仲になれたので、みなさんが見てもわかるように、今では、すっかり楽しいロータリーライフが出来ております。

ここで私が言いたいのは、とにかく一人でも、私と言う F 氏のような人物を当クラブで作って欲しい。

そうすれば、いつかきっと楽しいロータリーライフが待っているのだから・・・

4 つ目は、他クラブからのゲストについてお話しさせていただきます。

ゲストの方も不安を抱えて来られることも多いと思いますので、ひとりぼっちにさせず、同席の方は積極的にお声掛けをし、当クラブに来て良かったと思って帰っていただきましょう。

そうすれば、きっと当クラブの評価も上がると思われそうです。

5 つ目は、各種イベントへの参加、不参加はできる限りではなく、必ず返信をして欲しいです。

イベント企画者は多大な時間と労力を費やしているので、その労に報いる為に必ず返信をお願いいたします。

いちロータリアン、社会人として。

最後になりますが、今年度の三役は、『なかよし 3 人組』なので、当クラブへの疑問、不満等があれば三役の誰でも良いのでご相談ください。きっと相談しやすい古津会員が良いと思いますが、誰に相談しても必ず三役で意見をまとめ、解決に向けてガンバりますので、短いようでも長いですが、1 年間どうぞよろしくお願いいたします。

以上をもってつたない挨拶ではございますが、副会長就任の挨拶とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

幹事
理事 古津 彰宏

今年度幹事を務めさせていただきます古津です。

本日より例会の進行も担当しておりますが、滑舌が悪くお聞き苦しい点はどうかご容赦ください。実は今日に備えて話し方教室にも通いましたが、残念ながら効果はまったくありませんでした。

約1年半前に幹事のお話をいただいたときには、自分に務まるとはとても思えませんでした。会社での仕事も現役ですし、所属する全国タイル業協会でも責任ある立場を担っており、時間的にも厳しい状況でした。また、それ以上にロータリー歴も浅く、わからないことが多い自分にできるのだろうかと不安でいっぱいでした。そんな中、「効率を考えて省力化すれば何とかなるのでは」という甘い考えでお受けしました。

ところが、「1年間、静かに、目新しいことはせず、何事もなく平穏に進んでいってほしい」という私の願いとは裏腹に、鈴木会長の「これはどう思う？」「あれはどう思う？」「これがしたい」「あれをやりたい」というヤル気満々な言葉を聞くにつれ、「これはちょっと悪い方向に進んでいるな……」と感じておりました。

しかし、副幹事として1年間、小林前幹事の仕事を

を間近で見て、歴代幹事の献身的なクラブへの貢献を知る中で、当初の甘い考えを改めました。そもそも、我々のような大きなクラブにおいて会長の任期は一度きり。熱意あふれる会長の思いを実現できるよう、しっかりとバックアップすることが幹事の務めであると考え直しました。

また幹事の大きな役割であるクラブ運営についても、歴代幹事の皆さまが「神戸東ロータリークラブを居心地の良い、素晴らしいクラブに」と努力を重ねてこられたことを引き継ぎ、守り続けなければなりません。皆さまにこれまでどおり「神戸東はいいクラブだ」と思い続けていただけるよう、私も覚悟を決め、幹事という仕事に命を削って頑張っていきたいと思います。

「神戸東は委員会がしっかり機能しているので、幹事として本当に助かる」という小林前幹事の言葉も励みになっています。今年度も前年同様、各委員会の委員長には優秀な方々にご就任いただいておりますので、その点は大変心強く安心しております。

とはいえ、未熟な私ですので、皆さまにご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じます。その際はどうか「1年間の辛抱」ということで、寛大なお心でお許しいただければ幸いです。

これからの一年間、幹事という大役を「明るく、楽しく、元気よく」務めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。





2024-25 年度 神戸東ロータリークラブ

第 71 代会長 神田 孝平
理事

一年間たいへんお世話になりました。

伝統のある神戸東ロータリークラブの第 71 代目の会長を仰せつかり、無事にお役目を終了することが出来ました。

昨年、創立 70 年を迎えた我がクラブは、今年創立 71 年目を迎えました。

今年度の RI のテーマ「ロータリーのマジック」、地区行動指針・「心から心へのメッセージ 手に手つないでロータリーのマジックを実現しよう」を受けて、今後、80 年、100 年を迎える我がクラブのスタートの一年目として、

「ENJOY ROTARY with TRADITION 伝統と共に楽しもうロータリーを」という会長方針を立てました。そして

- ・会員の皆様にとって、居心地の良いクラブ、楽しいクラブを皆様と共にめざしたい。
- ・一人でも多くの会員の出席の下、親睦と奉仕活動を皆様と共に頑張りたい。
- ・これまでのロータリーの歴史を学び、未来に向かってより良いクラブを皆様と共に築いていきたい。という思いで、スタートしました。

また、今年のテーマを「明るく楽しく元気良く」とし、毎例会や各会合で必ず申し上げて参りました。

このテーマを掲げてスタートした一年でしたが、自分から率先して「明るく 楽しく 元気良く」振舞うことの大切さを実感できた一年でした。実際そうすることで、ロータリーならではの素晴らしさだと思いますが、他業種の素晴らしい方々と本音で話し合える機会にも巡り合え、親睦が生まれました。その親睦の結果が、職業奉仕や社会奉仕に繋がっていくのだと思います。これからも是非続けていきたいと思います。

42 回の例会といろいろな事業を無事に終了出来ましたのは、皆様のおかげです。理事、役員、各委員長の皆様にはそれぞれの分野で素晴らしい活動をして頂きました。とりわけ三役の小林幹事には会務全般を円滑に運営して頂きました。松井副会長には私のサポート役として常に助言や励ましを頂き、地区とのパイプ役も務めて頂きました。本当にありがとうございました。そしていつもいつも心優しく、無理難題を引き受けて頂きました事務局のお二人には心からお礼を申し上げます。

個人的なことになりますが、36 歳でロータリークラブにお世話になり、今年 71 歳を迎えました。実に人生の半分をロータリーで過ごしていることになります。28 年在籍した某クラブを、訳あって退会し、もう二度とバッジを着けることも無いだろうと思っておりましたが、縁あって、このクラブにお世話になることになりました。まさに拾って頂いたという感覚でした。有難く、感謝しています。おまけに会長までさせて頂き、感無量です。神戸東の度量の大きさに感謝しています。ありがとうございました。

最後になりますが、会長職を一年間させて頂き、神戸東ロータリークラブが益々好きになってしまいました。この素晴らしいクラブを今まで以上に良くして頂けると確信しております、鈴木会長エレクト、工藤会長ノミニーのご活躍を楽しみにしています。

今後益々の神戸東ロータリークラブの発展を祈念し、感謝を込めて退任の挨拶とさせていただきます。



2024-25 年度 神戸東ロータリークラブ

副会長
理事 松井 照男
クラブ管理運営委員長

只今より、副会長退任のご挨拶をさせていただきます。今年度、神田会長の方針は、会員の皆様にとって居心地の良いクラブ、楽しいクラブを共に目指していきましょうということでスタートさせていただきました、それと、神田会長の屈託のない明るさをどうすれば1年間継続でき、又、会員の皆様方への相乗効果をより一層効果的に高めることを常に考える1年でもありました、小難しい話は、極力避け、歴史の継承と、進化、そして何よりもコミュニティ強化の一環である、親睦に力を注ぐべく、特に、親睦委員会、家族委員会の皆様方には、今までにない工夫を凝らしていただき、「明るく、楽しく、元気良く」できた1年であったと思いますと共に会員間の絆がより一層深まったのではないかと思います。又、神田会長に置かれましては、1年間例会を1回たりとも休まず、例会での会長職を全うされたことは、大変すばらしいことであり、「明るく、楽しく、元気良く」できた1年でしたし、私自身も、当初副会長を指名されたときは、不安でいっぱいでしたが、会長の持ち前のバイタリティーに引っ張られ、元気をもらい、悔いのない、充実した1年でありました。

又、神戸東クラブの71回目の創立記念例会も無事に終え、先輩諸兄が、これまで築きあげられた、伝統と文化をお祝いできました事を大変うれしく思います。

伝統は、挑戦と進化を繰り返し、やり続けた結果が当神戸東クラブの文化として、定着したものと思われま。これからも我がクラブは、更なる進化をし続け、100年へと繁栄し、生き残れるクラブとして、地域社会に必要とされるクラブ運営を目指し、これからも皆様方と共に頑張っていきたいと思ひます。

副会長就任の挨拶で申し上げたことで、全ては、会員の維持とクラブの一体感を目標として、全ての行事により多くの会員に参加していただこうと三役でいろいろな議論をさせていただきました。

いまさらながら、会員にとって最も必要なことは、クラブ運営を理解し、クラブを愛し、会員を愛することでありま。我々企業人が集まる会としては、互いを思いやる相互扶助の精神が最も必要ではないかと考えま。それが、居心地の良さであり、クラブをより一層盛り上げていく会員の増強につながるものと思ひます。

これが、我がクラブのポテンシャルの高さだと信じます。今年度、ご協力頂きました、出席委員会、親睦委員会、家族委員会、プログラム委員会、週報委員会、唱歌委員会の各委員長の皆様方、そして委員の皆様方には、クラブ管理運営委員長として心より感謝申し上げます。

最後になりましたが会員の皆様方には、会長の思いをご理解頂き温かいご支援のおかげで何とか一年、やれたように思ひます。皆様方には、感謝しかございません。皆様方のご多幸と当クラブの益々の発展を心よりお祈り申し上げ、はなはだ、簡単楚辞ではございますが、退任のご挨拶とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。



2024-25 年度 神戸東ロータリークラブ

幹事 小林 一也
理事

この度、幹事を退任するにあたり、1年間の感謝と所感を述べさせていただきます。

御礼

皆様には1年間大変お世話になりました。至らぬ点も多々あったと思いますが、会員の皆様の温かいご支援のおかげで、無事に務めを終えることができました。心から御礼申し上げます。

会員増強

年度初めに、ホテルオークラでの例会開催、事務局設置、各種事業の継続には最低110名の会員が必要であるとお話ししました。現在、会員数は109名となり、目標をほぼ達成することができました。会員増強委員会ならびに会員各位のご協力に深く感謝いたします。しかしながら、諸物価高騰によりクラブ運営は今後ますます厳しくなることが予想されます。引き続き、会員増強にご理解とご協力をお願いいたします。

三役

幹事の職務は実質的な運営を担うため、多忙であると同っておりまして。確かに事務処理は多岐にわたりますが、同時に、制約の中で自身の判断で物事を推進できる面白さも感じました。不明な点は神田会長、松井副会長に相談でき、また、最終的な責任は神田会長に帰属するという安心感があり、私にとって大変居心地の良い関係であったと感じています。

委員会

各委員長をはじめとする委員会の皆様の活動は目

覚ましく、各委員会がそれぞれ実施計画を立案し、実行に移してくださいました。必要に応じて三役に相談し、理事会への提出までの一連の作業を主体的に進めていただいたことで、幹事として大変助けられました。この1年を通して、神戸東の会員の皆様の層の厚さと能力の高さを改めて実感しました。他クラブの例では、各委員会に任せきりにしたことで行事が年度末に集中し、運営に支障をきたすケースもあったと聞いておりますが、当クラブにおいてはそのような心配は全くありませんでした。

理事会

毎月開催される理事会は、幹事にとって重要な業務の一つです。個性豊かな皆様との議論は時に苦労もありましたが、過去の実例や慣習、そして多様なご意見を伺うことができ、私にとっては大変有意義な時間でした。最終的には皆様に理性的にご対応いただき、意見をまとめる上で苦労することはありませんでした。

地区

年度当初、幹事就任のご挨拶で、地区（委員会）の目的はクラブの強化と支援であるというガバナーの方針を聴き、地区とクラブの関係が明確になったとお話ししました。しかしながら、1年間幹事を務め、現在必ずしも納得できてはいません。地区の取り組みは善意に基づくものと理解しておりますが、それがクラブにとって負担となるケースもあるように感じています。ロータリーはあくまで各クラブが主体であるべきであると考えています。

次年度

次年度の予定者会議に参加させて頂いています。準備が驚くべきスピードで進められています。奉仕活動や親睦活動に加え、効率化委員会が新設され、クラブ運営の効率化計画が着々と進行しています。

今年度は物価上昇の影響を受け、事務局職員の給与や例会費用の値上げを決定しましたが、これらの影響は次年度から顕在化します。そのため、次年度はクラブ運営費用の削減に向けた様々な新しい取り組みが計画されています。会員の皆様には、ぜひこれらの取り組みにご理解と積極的なご協力をお願いします。

結びに

この1年間、皆様からのご協力に心から感謝しています。私にとってこの1年は、皆様がどのように感じていらっしゃるかは分かりませんが、非常に楽しく充実したものでした。本当にありがとうございました。

職業奉仕委員長
理事 小谷 哲也

本年度、職業奉仕委員長を務めさせていただきます小谷哲也でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

このような伝統と誇りある委員会の委員長を拝命いたしましたこと、改めて身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、1年間、皆さまのお力をお借りしながら精一杯務め、ご指名を頂きました三役の皆さまのご期待にお応えしてまいりたい

職業奉仕とは、自らの職業を通じて社会に価値を提供すること——すなわち、お客様の課題を解決し、安心や喜びを届けること。そして、社員や取引先との信頼関係を丁寧に築いていくことだと考えております。

言い換えれば、「プロフェッショナルとしての誠実さ」がそのまま社会への貢献につながるということではないでしょうか。

私たちが普段取り組んでいる仕事そのものが、誰かの生活を支え、社会の一部を構成している——このことに気づいたとき、自分の仕事への姿勢や意味づけが大きく変わってくるのではないのでしょうか。

今年度の職業奉仕委員会では、こうした気づきや学びを、会員の皆さまと共有できるような活動を目指していきたくと考えています。

具体的には、次のような取り組みを計画させていただいております：・会員同士の職業理解を深めるための職場訪問・1月の奉仕月間に向けた卓話の実

施・若い世代や地域社会に向けて、職業の魅力や責任を伝える活動・メンバーが「職業人としての誇り」を再確認できるような小さな対話の場づくり

とくに今年度は、「自分の仕事の中にある奉仕の形に気づく」というテーマのもと、委員会の企画を進めていきたくと考えております。

日々の仕事の中には、大小さまざまな判断や選択の場面があります。その一つひとつを「社会にとって良いことか」「相手のためになっているか」といった視点で捉えることが、職業奉仕の第一歩だと私は思います。

また、私たちの仕事は、目の前の利益だけでなく、未来を見据えた責任も伴っているはずです。自分の行動が会社や顧客、そして地域社会にどのような影響を与えているのか。そういった視点を持つことが、真の意味での職業倫理につながるのではないのでしょうか。

近年、働き方や価値観が多様化し、職業そのものの在り方が大きく問われています。こうした時代だからこそ、ロータリアンとしての職業観・倫理観を再確認し、それを次の世代へと伝えていくことが、ますます重要になってくるのではないかと感じております。

私も63歳になり、改めて思うのは、「伝えること」の大切さです。経験してきたこと、学んできたことを、言葉と行動を通じて次の世代に伝えていく。それもまた、一つの職業奉仕のかたちではないかと思っています。

是非このような活動に際しまして、委員会メンバーの皆さま、そしてクラブの皆さまのお知恵とご協力を賜りながら、実りある一年にしていきたいと思います。

特に、本年度の委員会メンバーは、たいへん心強い方々ばかりです。三原さん、乙守さん、澤田さん、吉井さん、三戸岡さん、小山さん、芳賀さん、森本学さん。先日も第一回委員会を開催し、大変有意義な意見交換をさせていただきました。

メンバーの皆さまのご経験とお知恵をお借りしながら、この活動を意義あるものにしていきたくと考えております。

ありがとうございます。どうぞ1年間、温かいご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。



社会奉仕委員長
理事 梅田 稔

みなさんこんにちは。今期社会奉仕委員長を仰せつかりました梅田です。社会奉仕委員長は初めてですが、できるだけ多くの皆さんに参加頂けるよう企画して参りますのでよろしくお願い致します。私自身ロータリーの社会奉仕の概念はまだまだ勉強不足ですが、とりあえず今期やるべきことは明確になっていますので鈴木会長の方針に沿って一つ一つ丁寧にやっていきたいと思っています。

主な活動としては2つの事業を行います。まず、1つ目は友生支援学校と青陽灘高等支援学校の生徒を招いてボウリングです。これは、鈴木会長が方針で書かれている神戸東 RC の伝統を象徴する活動としての「障がい者支援」と「青少年支援」の両方にあてはまる大切な事業として認識しています。障がいの程度や内容も様々ですが、約 100 名の障がいを持った子供たちに楽しい時間と教育や訓練の場を提供するという意味で大変意義のある事業です。どちらも会場は神戸六甲ボウルで日程は 12 月 1 日と 22 日に決定しています。

もう一つは来年 4 月の創立記念例会で日本画家南正文（みなみ まさのり）さんの作品の展示と夫人による卓話を考えています。この方は小学校 3 年生

の時に父親の木工所の手伝いをしていて機械に巻き込まれて両腕を失いました。14 才から口で絵を描き始め 2012 年に 62 歳で亡くなるまで 900 点の作品を残されました。私も作品を見ましたが本当に明るくてあたたかみがあり観る人の心を優しく包んでくれるような作品ばかりでした。過酷な運命を背負いながらの 62 年の人生の軌跡は全ての人にとって生きるヒントや勇気を与えてくれるものと考えます。

奉仕活動というと、良い事をするためにしんどい思いををするといったイメージが強いかと思いますが、参加する事で何か得るものがあるような、また参加者同士の親睦に繋がるような事業にできないかと思っています。本年度鈴木会長は「親睦」に重点を置かれているので何とか奉仕と親睦を結びつけたと考えた時に頭に浮かんだのが、私が幹事をさせて頂いた時の吉井会長のスローガン「明るく楽しくみんなで奉仕」です。今考えるとまさに奉仕と親睦を結びつけた言葉かと思っています。

そして、その時の社会奉仕委員長が本年度会長の鈴木さんでした。鈴木さんは障がい者の作業所兼店舗の改修をする際にみんなで壁の漆喰塗りをするという親睦に繋がる要素を付加されました。今年は私がそれらを参考にしながら鈴木会長の想いに応えられるように、また、できるだけ多くの会員の皆さんやそれ以外の方々に参加して頂けるよう「もっと、もっと、もっと」と自分に言い聞かせながら企画して参りたいと思いますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。





国際奉仕委員長
理事 古賀 健一

今年度、2025-2026年度、国際奉仕委員長を拝命いたしました古賀健一でございます。経験不足の若輩者ではございますが精一杯頑張りますのでどうぞ一年間、よろしくお願いいたします。

では、今年度、会長テーマである“RENAISSANCE Rotary club of Kobe East”～笑顔で、親睦と連帯の実践による革新的進歩～に沿って、国際奉仕活動に対する抱負と基本方針を発表させていただきます。

1. まず初めに本年度、国際奉仕委員長を拝命するにあたり、私なりにロータリークラブにおける国際奉仕とは何かを改めて考えてみました。

ロータリークラブの色々な資料によると、国際奉仕とは、国境を越えて人道的な課題に取り組み、相互理解と平和の促進を目指す、ロータリーの中でも非常に重要な活動であると記されております。

近年では、紛争、貧困、教育格差、医療アクセスの問題、気候変動など、さまざまな国際的課題がますます複雑化しています。

こうした中で、私たちロータリアンが果たすべき役割は、単なる「支援」や「寄付」にとどまらず、現地と継続的に関わり、持続可能な形で寄与することが重要ではないかと考えております。

さて今年度の具体的な活動内容ですが

本年度、鈴木会長以下三役から、国際奉仕委員会

の重要なミッションとして、ご指示を受けております、当クラブ提唱の地区補助金によるVTT「アメリカホスピスタウン施設研修プロジェクト」を実施致します。

研修実施場所としてまだ確定はしていませんが
：Arcadia Family of Companies, Manoa Senior Care, Craig side 15, Nagomi foster Homes, University of Hawaii, Woman Center of Hawaiiなどを候補地として調整しております。

研修実施期間は：2026年2月3日～2026年2月9日の1週間です。

2番目には、当クラブ提唱の地区補助金によるVTT「アメリカホスピスタウン施設研修プロジェクト」を成功させるために、様々な方法により協同提唱クラブを広く集め、共に活動する努力を致します。

神戸東ロータリークラブ会員の皆様も本プロジェクトの趣旨をご理解いただき、ご協力頂きますようお願い申し上げます。

(3) 2026年度の国際大会が、台湾（台北）で、2026年6月13日～17日に開催される為、国際大会への参加企画を実施いたします。

(4) 今年11月にシスタークラブのシンガポールRCの日本訪問が予定されておりその際の受け入れと歓迎会の対応を計画致します。

(5) また国際奉仕委員会のそうそうたるメンバー、諸先輩の方々と共に、委員会内の親睦をはかり、国際奉仕活動の理解を広めていきたいと考えております。

最後に

「よいことのために手を取りあおう」という本年度国際ロータリーのメッセージにもあるように、私たち一人ひとりの行動が、世界のどこかで希望となりますように微力ではありますが、委員会員一同、心を込めて一年間の活動を進めてまいりますので、どうかご指導ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



青少年奉仕委員長
理事 樋口 敦仁

2025 - 2026 年、鈴木会長年度の青少年奉仕委員会の委員長を拝命いたしました樋口です。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

繰り返すにはなりますが、会長方針である【RENAISSANCE Rotary club of Kobe East～笑顔で、親睦と連携の実践による革新的進歩～】に基づき、各事業において、青少年らに交流・親睦の機会を提供し、将来への可能性を感じていただけるよう努めてまいりたいと思っております。

加えて、次世代のリーダーとなる青少年を育む活動にも注力してまいります。具体的な活動といたしましては3つを計画しております。

一つ目は、Kobeっ子親善ラグビー大会の後援です。こちらは2022年井元会長年度より、当クラブで後援させていただいている事業で、当クラブとして4回目、大会としては10回目となります。

神戸市内の認定こども園・保育園等の4歳・5歳の園児らにより行なわれ、タックルやキックは行なわず、腰に付けたひらひらのタグを取ったり、取られたりしながらボールを持ってコートを駆け回る、危険性の少ないタグラグビー形式で開催されています。

参加者は選手500名以上、保護者などを含めると2000人を超える規模に膨らんできており、メディアなどにも取り上げられる活動となってきておりま

す。

二つ目は、神戸市中央区少年野球大会の後援です。こちらは、20年程前から当クラブ協賛で開催し、2016年の第9回大会を最後に協賛という形式を終了しましたが、昨年の神田会長年度より後援という形で支援を再開した事業となります。

神戸市中央区の小学校数校の生徒らに参加していただき、数チームのメンバーをシャッフルして特別チームを編成し、勝ち抜き戦を行なうなど、普段のチームメイトらが敵味方に分かれたり、いつもと違うポジションについたり、戸惑いながらも、違う角度で野球を楽しんでもらえる活動となっております。

これら二つの事業では、活動を通じて、参加する園児や学生の心身の成長、仲間意識や共助意識を育んで貰えるとともに、保護者や施設、指導者間においても、情報共有などを通じた交流も図られており、将来への可能性を感じてもらう一助となっているものと思います。

三つ目は、RYLAセミナーへの参加者の斡旋とローターアクト及びインターアクトの諸クラブについての調査・考察となります。

これらについては地区主体で実施されている事業であり、僕自身がまだ不勉強なものであまり理解ができておりません。地区のセミナー等への参加や情報収集を行ない、神戸東ロータリークラブの活動に役立てるよう気づきや学びを持ち帰りたいと思っております。

以上の3つを主として計画しております。いずれにも共通していえる事ですが、青少年奉仕委員会の中の事業ではなく、神戸東ロータリークラブ全体としての事業となります。

事業内容を皆さまに周知すると共に、全体事業であるとの認識を深めていただけるよう努め、事業へのご参加・ご協力を通じて会員同士の親睦は図り、継続事業や新規事業について、広くご意見を頂戴するなど連携し、事業の実践によって神戸東ロータリークラブの革新的な進歩に繋がりたいと思いますので、会員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

一年間、どうぞ、よろしくお願いいたします。

在籍 55 年表彰・金婚・ダイヤモンド婚のお祝いなどで 創立 71 周年記念合同祝賀会を楽しみました



ロータリー会員 80 名、むつみ会会員 26 名、混成合唱団ゲスト、米山奨学生、事務局員等総勢 113 名で神戸メリケンパークオリエンタルホテル『瑞天の間』におきまして例会並びに 71 周年創立記念合同祝賀会を開催いたしました。

祝賀会におきましてはいつものように神戸東ロータリークラブ混成合唱団の素敵なコーラス「真っ赤な太陽」、「愛燦燦」ではじまり会長挨拶、SAA による乾杯で幕を開けました。

神戸メリケンパークオリエンタルホテル様のおいしい洋食と、今井様厳選のワインやお酒を楽しみました。

この日は皆出席者の表彰、ご寄付を頂いた皆様の

ご紹介、在籍 55 年（お二人）のお祝い、恒例の金婚（1 組）、銀婚（1 組）、さらにはダイヤモンド婚（3 組）のお祝い等盛りだくさんの内容となりました。

途中 30 分ほど 5 名の素敵な女性音楽家「アンサンブル・トレ」による演奏で映画音楽やクラシック等をお楽しみいただきました。

最後にロータリー会員の参加者数が目標の 85 名にとどかなかったことは心残りではありますが本年度も家族委員会の事業に対しまして皆様のご理解と多大なるご協力をいただきましたことに対しまして委員会を代表いたしまして深く深く感謝申し上げます。有難うございました。

（家族委員長 石川 泰平）



第3回会員親睦会で 「第一楼」の美味しい中華料理を堪能しました



2025（令和7）年3月11日（火）午後5時30分受付～午後6時より第3回会員親睦会を神戸の老舗中華料理店「第一楼」にて会員55名の参加で行いました。

会員相互の親睦を深める機会に成れるように丸中華テーブルを座席指定でなく、自由席で歓談してい

ただき、料理、それとバイオリンのウエルカム演奏と中盤でのソロ演奏を楽しんでいただきました。

次回も会員の皆様の親睦を大いに深めていただけますように企画を進めてまいります。

（親睦委員長 田中 義明）



道上 貴美子
—神戸ブルースカイ法律事務所—

2025年1月に入会させていただきました、道上貴美子と申します。この伝統と格式ある神戸東ロータリークラブに入会させていただき感謝申し上げます。

私は、1985年、兵庫県神戸市で生まれました。その後芦屋市に引っ越し、大学から東京に出て、2014年から弁護士として働いています。弁護士としての主な業務は、損害保険に関する業務、企業法務、離婚、相続等と多岐に亘ります。また、2018年から2020年までの2年間は、消費者庁で任期付公務員として勤務しており、消費者安全法に基づき設置された消費者安全調査委員会の事務局として、事故調査等を担当しておりました。

その後、2020年から芦屋に戻りまして、今は道上明が代表を務める神戸ブルースカイ法律事務所にて勤務しております。家族は同業の夫と、2歳半の息子と、4歳のカニンヘンダックスフンドの娘との4人暮らしです。やんちゃ盛りの息子と、いつまでもやんちゃなダックスフンドのコラボはなかなか刺激的な毎日ですが、夫にも強力な戦力になってもらって、なんとか日々の業務をこなしております。

さて、日ごろ、裁判所に行って、裁判官や、時には当事者の方と相対していると、言いようのない緊張感があり、時にはそれが強いストレスとなること

もあります。ただ、こういったストレスを解消する方法が、私にはあります。それがコーラスと宝塚歌劇観劇です。受験時代、日々本当に勉強ばかりしていて精神的にかなり疲弊してしまった経験から、仕事は仕事として精一杯向き合いつつも、時には、リフレッシュとして全く別のことにこれも「没頭」する時間が大切だと感じ、この2つの趣味を大切にしています。

一番の趣味はコーラスです。中学校・高校はコーラス部に所属しており、昨年夏からは地元のコーラスクラブにも所属して、日曜日午後5時から毎週練習をしています。昨年12月には1時間ほどの発表会もあり、久しぶりに人前で歌うことの楽しさも感じました。もちろん、歌を通して気持ちを表現するのは素晴らしいですが、私は、コーラスの良さはその“みんなで作り上げる”感覚にもあると思っています。協力しながら、時にひとつの音楽を作り上げていく過程は、チームワークそのもので、とてもやりがいを感じます。どうしても弁護士という仕事は不協和音から始まることも多いですから、仕事で抱える不協和音を和音で昇華できるのが、今のコーラスのモチベーションの一つになっています。

次に宝塚歌劇観劇です。なんととっても宝塚の魅力は、舞台の上で繰り広げられる豪華な衣装やストーリー、そして出演者のパフォーマンスです。あの華やかさは日常では味わえないものですから、つい、仕事の忙しさを忘れてしまいます。

コーラスも、宝塚歌劇も、「ともに何かを成し遂げる」という部分に魅力を感じております。また、ロータリークラブの奉仕活動にも、同じような魅力があると感じております。コーラスで感じた団結力や、宝塚で見た舞台の力強さを、ロータリークラブの活動にも活かし、弁護士として仕事をしていく中で、人として成長し、さらに社会に貢献できるようになりたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



孝岡 真太郎
—税理士—

はじめまして。このたび、神戸東ロータリークラブに入会させていただきました、税理士の孝岡真太郎と申します。歴史と伝統あるクラブの一員として活動できることを大変光栄に思います。また、素晴らしいご縁をいただき、皆様と交流できることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。私は1972年8月生まれの52歳で、生まれは三木市緑が丘です。現在は明石市に住んでおり、家族は妻と大学生の子どもの3人家族です。日々の仕事に励みながら、家族との時間を大切に、充実した毎日を過ごしております。

令和元年7月に、父から孝岡会計事務所を承継しました。長年、地域の皆様に支えられてきた事務所を引き継ぐことは、大きな責任とともに、やりがいのある仕事だと感じています。税理士の仕事は、単なる会計処理や税金計算ではありません。経営者の皆様と共に事業の将来を考え、良き相談相手となることが求められます。私は、自分の未熟さを常に自覚し、「職業会計人として必要な技能を純粋に身につける」ことを信念に、日々努力を続けています。また、私は「人生は1回生である」という考えを大切にしています。つまり、一度きりの人生だからこそ、学びを怠らず、豊かで快適、そして健康的な生活を築いていくことを意識しています。仕事だ

けでなく、趣味や人とのつながりも大切にしながら、充実した毎日を送りたいと考えています。趣味のひとつに海釣りがあります。現在はあまり行けていませんが、以前は明石の海を中心に、日本海や四国へも遠征していました。釣りを始めると、とことんハマる性格で、魚の習性や潮の流れ、海の地形を研究し、道具選びにもこだわりました。何より、海を眺めながら無心で集中できる時間は、日々の疲れを癒す最高のリフレッシュ方法でした。最近ではゴルフを楽しむようになりました。ゴルフは、技術だけでなく、メンタルや戦略が求められるスポーツであり、奥が深いと感じています。また、ゴルフを通じて多くの方と交流できることも魅力の一つです。まだまだ未熟な腕前ですが、少しずつ上達を目指しながら、プレーを楽しんでいます。自然の中で過ごす時間は、気分をリフレッシュさせ、仕事にも良い影響を与えてくれています。今回の神戸東ロータリークラブに入会を新たな学びと成長の機会と捉えています。ロータリークラブには、さまざまな分野でご活躍されている方々が多く在籍されており、そのような方々と交流を深めることで、自分自身の視野を広げ、人間性を磨いていきたいと思っております。また、ロータリークラブの「奉仕の精神」にも共感しております。私はこれまで税理士として、企業経営をサポートすることで社会に貢献してきましたが、これからはさらに広い視野を持ち、地域社会への貢献にも力を入れていきたいと考えております。ロータリークラブの活動を通じて、社会のためにできることを学び、実践していきたいと思っています。まだまだ至らぬ点も多いかと思いますが、これから皆様と交流を深めながら、学び、成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。





二ノ宮 智明
ーキリンビール神戸支店ー

こんにちは。私はキリンビール神戸支店 支店長の二ノ宮智明です。1977年生まれで、関西の京都市伏見区向島ニュータウン出身です。家族は妻と三人の娘がおり、娘たちはそれぞれ理系や高校に通っています。実家は桑名で、現在は大阪福島に単身赴任しています。

学生時代は特に打ち込むものもなく、勉強も部活もあまり熱心ではありませんでした。大学は立命館大学に入学し、妻と出会ったのもそこでのクラスでした。就職活動は就職氷河期の中で非常に厳しく、ようやくコンビニのサークルケイジャパン株式会社に就職しました。そこでは直営店の店舗販売や店長業務を経験し、深夜の一人勤務や万引きの危険を感じることもありました。

その後、スーパーバイザーに昇格し、多種多様なオーナーとの折衝を通じ多くの経験を積みましたが、営業不振で担当店舗の解約が続き、将来を見据えて退職を決意しました。その後、ダイキンの販売会社で営業職を経験し、家庭の事情から退職しました。失業保険とアルバイトの生活を経て、キリンビールに再就職し、神戸支店に配属されました。

神戸支店では淡路島から兵庫県内のエリアを担当

し、飲食店を回る営業活動にやりがいを感じました。特に神戸の街が好きで、異動先の東京や大阪からも神戸への思いを強く持ち続け、2021年には近畿内での異動により神戸に戻ることができました。現在は競合の中でのシェア低下を課題とし、酒税法改正によるチャンスを活かしながら、チーム力を高めて支店の活性化を目指しています。

趣味はテニスで、先輩の代理で始めた試合で悔しい思いをし、本格的に練習を重ね、大会で優勝するまで上達しました。肩の怪我で1年半プレーできなかった時期もありましたが、現在も地域のテニスサークルに参加し、交流を楽しんでいます。週末はテニス合宿や釣り、温泉など仲間と過ごし、平日は仕事に取り組んでいます。

このように神戸という街と仕事、趣味のテニスを通じて日々充実した生活を送っております。今後も地域社会や仲間と共に成長し続けたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



「職場訪問・川崎重工業(株) ロボット工場見学」



5月27日(火)、職業奉仕委員会の事業として、川崎重工業株式会社西神戸工場のロボットショールームを訪問いたしました。当日は37名が参加し、例会終了後に貸切バスで現地へ向かいました。

工場ではまず会議室にて事前説明を受けた後、2班に分かれてショールームを見学いたしました。ショールームでは、自動車工場、薬品工場、ビール工場など、実際の現場を模したデモンストレーションが展開され、10種類を超える産業用ロボットの動作を間近に見ることができ、大変興味深く拝見しました。

見学後の質疑応答では、産業用ロボットをはじめ

とするロボット産業が将来有望であることを実感するとともに、ロボット製造において世界トップレベルの技術を持つ日本でありながら、実際の工場導入については他国に比べ進展が遅れている現状などについても知ることができ、大変有意義な学びとなりました。

参加された会員の皆様にとっても、今後の参考となる貴重な機会であったことと思います。

最後に、見学を受け入れてくださった川崎重工業株式会社の皆様、そして本訪問の実現にご尽力いただいた小林幹事に心より御礼申し上げます。

(職業奉仕委員長 古津 彰宏)

大阪・関西万博を総数 46 名で見学してきました



5月29日（木）8時20分、総勢46名（大人43名小人3名）は、ホテルオークラ神戸と神戸東遊園地からバスに乗車して、大阪夢洲「EXPO2025 大阪万博」に向かって元気よく出発しました。9時15分夢洲第2交通ターミナルに到着。そこから西口ゲートまで約850m、途中トイレを済ませて歩いて歩いて時刻は9時50分、ついに記念すべき初万博入場。

オーストラリア館のスタッフの方がお出迎えただいて「ミャクミャク」をバックに記念写真を撮ってから、パビリオンサイドの裏口からこっそりと入館しました。オーストラリア館のテーマは「Chasing the Sun- 太陽の大知へ」オーストラリアの明るく活気ある国民性、才能、創造性、そして雄大な自然環境を表現されていました。映像も素敵でした。続いてドイツ館に入りました。ドイツ館のテーマは「環境経済（サーキュラーエコノミー）。資源を無駄に

せず、再利用や再生を繰り返す持続可能な社会を目指す考え方です。タイトルは「わ！ドイツ」です。「わ」には循環の「環（わ）」、調和の「和（わ）」感嘆の「わ！」の3つの意味が込められています。

2館をまわった頃にはお腹もペコペコ。ランチは大阪ヘルスケアパビリオン内のフードコート。六甲バターさんが出店されている「Q・B・B これもいいキッチン」で、各自メニューから好きなものと好きな飲み物を選んで食べました。ビールで乾いた喉を潤しオールヴィーガンのチーズ代替食品もなかなか美味しくて食べ応えも満足でした。

ランチの後は大屋根リングを歩いたり、目当てのパビリオンに並んだり自由に過ごしました。帰りの集合時間も全員きっちりと守っていただきスムーズに三宮に着きました。

お天気にも恵まれ親睦の深まる楽しいバス旅行でした。
(文責 香山 道宣)



神田年度のフェアウエル親睦会を開催しました



第4回親睦会を6月10日の、午後6時からメリケンパークオリエンタルホテルで開催致しました。

第2回ラウンドテーブル会のあと

神田会長、松井副会長、小林監事の年度、最終のフェアウエル親睦会と題しまして新入会員の自己紹介のあと、神田会長のサックス演奏、小林監事の四

人組のコーラスメドレー、松井副会長のサライを歌唱と三役にフェアウエルパフォーマンスをお願いし大いに盛り上がりのある親睦会になりました。

皆さまに感謝します。

(親睦委員長 田中 義明)





第28回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭のご報告



今年の親睦合唱祭は6月14日（土）ウェスティン都ホテル京都にて、京都洛中ロータリークラブ様の主催で開催され、全国から31もの多くの合唱団が集結しました。

今回特徴的なのは、会場が音楽用設備や機能があるコンサートホールではなく、ホテルの宴会場で合唱祭自体も行われる今までに無い「新しい形」で執り行われた事です。

実際の感想といたしましては、ホールで行う合唱祭と遜色無い音響レベルを実現されており、開催側の多大なご努力を感じる合唱祭でした。

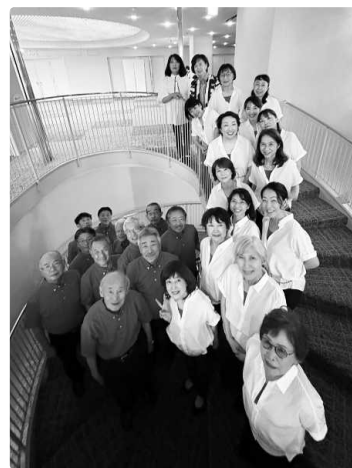
さて、我々が西村雅子先生と片桐えみ先生率いる「神戸東RC混声合唱団」は29名、いつも合唱団の大きな支えである「神戸東RC応援団」は14名の総勢43名で参加となりました。

我々の曲目は2曲とも昭和を代表する歌謡界の女王である“美空ひばり”さんの楽曲で、『愛燦燦』と『真っ赤な太陽』です。

今回は例会後の唱歌練習が無くなり、月に一度程度の混声合唱練習だけとなったある意味「新しい形」となり、手拍子なども入る難易度の高い合唱内容となります。



しかしながら、今回も今までで一番のパフォーマンスを以て合唱祭本番を乗り越え、“本番にめっぽう強い”神戸東RC混声合唱団らしさを発揮し、講評者様からも高い評価を頂戴することができました。



そして、やはり今回も「編曲の素晴らしさ」に高い評価を頂戴し、改めて先生方の偉大さを感じると同時に、ご指導頂きながら仲間で楽しく合唱できる有難さを感じる、とても有意義な合唱祭となりました。

（唱歌委員会 西村 公志）



▲2月18日「KOBEから世界へ 災害救助活動の現場から」
海外災害救助市民センター 事務局長 吉 椿 雅 道 氏



▲3月25日「私の今」 三戸岡 英 樹 会員



▲3月4日「EXPO2025
関西万博オーストラリアパビリオンについて」
オーストラリア総領事 マーガレット・ボーエン 氏



▲4月1日「こどもの命をつなぐ小児外科
～少子化時代に立ち向かう医療の最前線～」
神戸大学医学部附属病院小児外科
診療科長補佐・特命准教授 大 片 祐 一 氏



▲3月11日「サブカル的視点で紐解く近代神戸」
サブカル郷土史家・ラジオディレクター 佐々木 孝 昌 氏



▲4月15日「ボツワナ文化の多様性と日本との交流」
元ボツワナ日本大使館臨時代理大使
元ハンブルグ総領事 小 坂 節 雄 氏



▲4月22日「近未来神戸国際物流事情」
(神戸港を空から見てみる)
元神戸市港湾局 経営企画担当局長 金 谷 勇 一 氏



▲5月27日「川崎重工業(株)のロボット事業について」
川崎重工業株式会社
精密機械・ロボットカンパニー 碓 永 武 史 氏



▲5月13日「真珠業界の最近のトピックと
ロータリーの話を少し」
須 藤 雄 二 会員



▲6月10日「微生物との共生という奇跡」
～腸内フローラ移植の可能性～
ルークス芦屋 クリニック 城 谷 昌 彦 先生



▲5月20日「昭和な野球がオモロい」
野球解説者・元プロ野球選手 江 本 孟 紀 氏



▲6月17日「日本とチベット 異文化を超えて」
チベット人歌手 パイマーヤンジン 氏

余韻会（俳句同好会）

令和七年二月十八日

ホテルオークラ神戸 桜の間

山の声春の川へと迂りゆく

奥田 好子

ぎこちないゴルフのスウィング余寒かな

吉田 博

本堂の畳の上の余寒かな

吉井 聖倅

春の川水の奏でるシンフォニー

神田 淡京

手を浸けてはしゃぐ合ふ子ら春の川

小林 一也

余韻会（俳句同好会）

令和七年三月二十五日

ホテルオークラ神戸 桜の間

鮮やかな風の言つて落ち椿

奥田 好子

春の川滑るが如く流れ行く

角田 伯堂

空模様行ったり来たり春を待つ

塚本 宗哲

待ち侘びし椿遠目に咲き初むる

吉田 博

春泥に後退りする白い猫

吉井 聖倅

走り去る車の轍春の泥

神田 淡京

一輪の椿に香る茶席かな

小林 一也



余韻会（俳句同好会）

令和七年四月十五日

ホテルオークラ神戸
桜の間

草餅に秘めし野の色野の匂ひ

奥田 好子

草餅に遠き昔を憶ひけり

角田 伯堂

万博は世界一の輪平和の輪

塚本 宗哲

金婚を祝ふ花束夜半の春

吉田 博

草餅や色薄くとも野の香り

吉井 聖倅

差し入れの草餅の香に氣をとられ

神田 淡京

仏壇の少し硬めの草の餅

小林 一也

余韻会（俳句同好会）

令和七年六月十七日

ホテルオークラ神戸
桜の間

新緑の風吹き渡る杜の声

奥田 好子

豆ご飯香り懐かし祖母の味

角田 伯堂

新緑の千年といふ大樹かな

則岡 弘士

新緑の古都や合唱染みわたる

塚本 宗哲

豆ご飯合唱祭の昼ごはん

吉田 博

新緑の中に消え行くケーブルカー

吉井 聖倅

新緑の光眩しき通学路

神田 淡京

新緑を潜り新緑のまた深し

小林 一也



「夏の花」 水彩 6号
 “がくあじさいとくちなしの花”
 (共に日本原産)

絵と文 小倉 宗夫

CONTENTS

三役就任挨拶……………	1
三役退任挨拶……………	4
四大奉仕委員長就任挨拶……………	7
創立記念合同祝賀会……………	11
第3回会員親睦会……………	13
新会員自己紹介……………	14
職場訪問……………	17
関西万博見学会……………	18
第4回会員親睦会……………	19
第28回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭……………	21
例会スナップ……………	22
余韻会……………	24

編集後記

2025-2026年度の第1号の会報をお届けいたしました。鈴木会長の会長方針「RENAISSANCE Rotary club of Kobe East～笑顔で、親睦と連帯の実践による革新的進歩～」のもとで72年目がスタートしました。鈴木会長をはじめとする理事及び役員の方々の就任挨拶からはじまり、早いものでもう2ヶ月が過ぎようとしています。この会報は年度事業の記録と会員間のコミュニケーションツールとして発信して参ります。

会報掲載の原稿、写真撮影等の依頼に快諾し、ご協力して下さった皆様に感謝申し上げます。

広報委員長 岡本 浩司